

群馬県前橋市の 養豚場で豚熱発生！

- 【所在地】 群馬県前橋市
【飼養頭数】 約3,450頭
【関連農場】 1農場（450頭）
【発生経緯】

- ・10月18日 死亡豚が増加している旨の通報を受け、県が立入
- ・10月19日 病性鑑定の結果、豚熱の疑い。同日、農研機構動物衛生研究部門による精密検査の結果、豚熱の患畜と判明。

効果的な消毒を行うために！

反応時間

・・・**作用時間は長めに！**

短時間では、その効果が限定的なものが多い

反応温度

・・・**温度条件により使い分け！**

温度が低いと、効果が下がるものが多い

有機物の影響

・・・**場面に応じて濃度調整！**

糞便存在下では、効果が下がるものが多い

異常に気づいたら、すぐに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします！

飛騨家畜保健衛生所

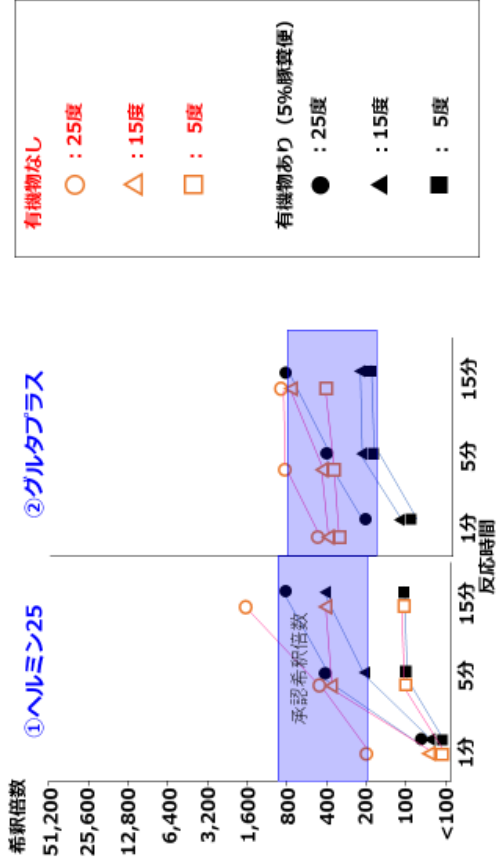
TEL : 0577-33-1111 (内線402、405) FAX : 0577-32-9019

※閉庁時には案内に従い「1」番 をプッシュしてください。土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けています。

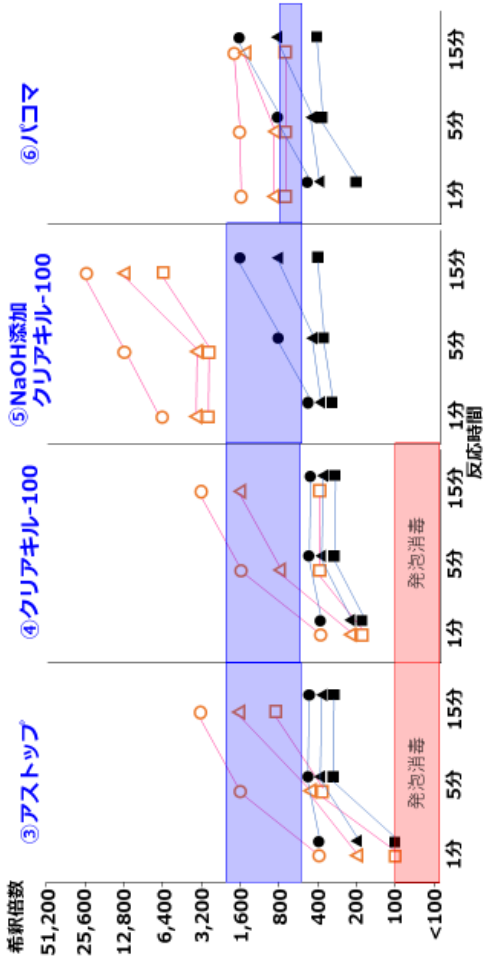
豚熱ウイルスに対する各種条件下での消毒効果

引用: 第164回日本獣医学会学術集会

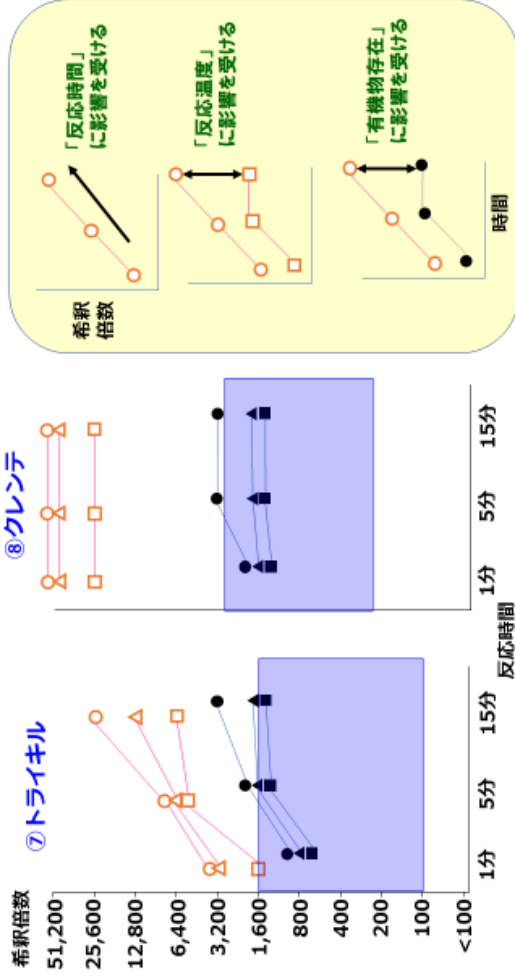
各消毒薬の効果-1 (グルタルアルデヒド製剤)



各消毒薬の効果-2 (逆性石けん製剤)



各消毒薬の効果-3 (複合製剤、ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム剤)



この結果によれば、多くの消毒薬は・・・

- ・「反応時間」に影響を受ける(長時間にするほど効果が上がる)
- ・「温度」に影響を受ける(温度が低いと効果が下がる)
- ・「有機物の存在」に影響を受ける(糞等で汚れていると効果が下がる)

※使用用途等を考慮した消毒薬の選択が必要

- ・クレンテの効果は非常に高いが金属の腐食を考慮する必要あり
- ・低温時は効果が減弱しにくいものを選ぶ 等々